

令和3年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 成果報告書

学校名 府立 大正白稜 高等学校	名前
------------------	----

1 学校教育目標(めざす生徒像)

- どんな時も投げ出さない、考え抜く強さをもてる生徒
- ゴールに向かって、多くの人と協働できる生徒
- 変化を恐れず、一歩前へ踏み出せる生徒
- 創り出すことを楽しめる生徒

2 令和3年度の校内研究の取組み

(1) 研究テーマ及び設定理由

① 研究テーマ

- 白稜シップの周知
- 白稜シップに基づいた授業づくり
- 白稜シップと観点別学習状況の評価について

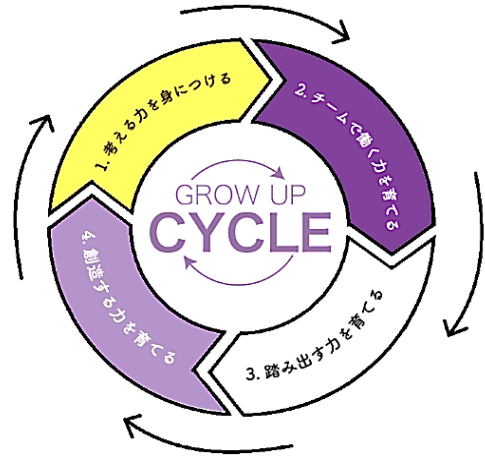
② テーマ設定理由

- 卒業までに身につける4つの力「白稜シップ」を周知し、昨年度からの検証と再検討を行う
- 観点別学習状況の評価と白稜シップの共通点を探る

(2) 校内研究の取組みについて

① 研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと(明確化した今年度のポイント)

- 本校では、「白稜シップ」という生徒に身につけさせたい「4つの力」(考える力、創造する力、チームで働く力、踏み出す力)があり、どのようにすれば身につくかを新転任の教員を含めて、全教員間で共有する必要がある、どのような授業で身につけられるのか検討する必要がある。
- 昨年度のパッケージ研修では白稜シップを身につけるための「授業で身につけさせたい力」を明確にした。今年度は、「授業で身につけさせたい力」は3観点のうちどのような評価が可能かを検討し、そこから各科目で身につけさせる力を設定し、授業でどのように活かすかを考えていく。
- 4つの力を身につけるために、授業における具体的な「できたこと」を考えつつ、生徒の学習状況をどのように評価するかを検討する。また、3年間で身につけるために、各学年でどのようなことができればよいかを考える。



②具体的な取組み

第1弾 ～観点別学習状況の評価についての事前学習～

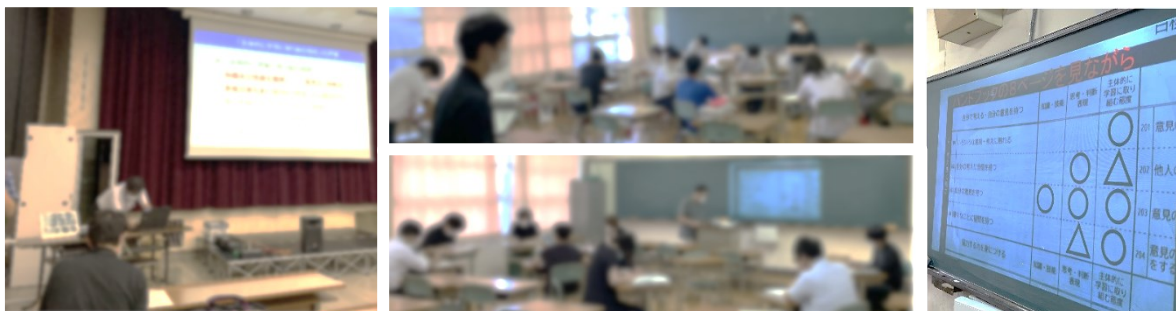
実施期間 6月～8月

- 「観点別学習状況の評価」に関する動画(総則編)を視聴し、疑問点などをアンケート

第2弾 ～観点別学習状況の評価についての全体会とグループ会～

実施期間 9月1日

- アンケートに書いてあった疑問点などをもとに指導主事からの講話
- 本校にある「白稜シップ(授業版)」を観点別に評価をするグループ会を開催



第3弾 ～白稜シップをもとに授業改善の見立てを考える～

実施期間 10月～12月

- 白稜シップを主体的に学習に取り組む態度の評価の1つとして、どう評価をするかを考える。
 - 教員間で授業見学を行い、真似したい点を探す。
- 【 授業見学シートを提出 】 or 【 Form に入力 】

※ 初任・10年目の先生方などの公開授業は、
事前に日程を調整し、公開日を設定した。

授業見学シート	
アカウントを切り替える	
このフォームを送信すると、メールアドレスが記録されます	
*必須	
授業見学者の氏名*	
回答を入力	

第4弾 ～意見交換会(全体会)～

実施期間 12月22日

- 研究授業(英語)をもとに、授業改善や観点別学習状況の評価に関して、意見交換を行う。
- 本校の実践事例(振り返りシートの実施について)
- 指導主事の先生からの講話(観点別評価についての具体的な事例)



③ 取組みの検証方法

第1弾 (教員アンケート:選択・記述式)

- 「来年度から3観点別評価が始まることをご存じですか」
- 「今までに各教科で話をしたことがありますか」 / 「今年度何か準備をしていますか」
- 「白稜シップについて、ご存じですか」
- 「白稜シップを意識しながら、授業をされたことはありますか」

第2弾 (教員アンケート:記述式)

- 「全体会について」 / 「グループ会について」
- 「全体を通して(3観点評価や白稜シップについて)」

第3弾 (授業見学シート:記述式)

- 「どのようなところが良かったですか」 / 「どのようなところを工夫されていましたか」
- 「自分の授業のどういった点を具体的に取り入れてみようと思いましたか」

第4弾 (教員アンケート:記述式)

- 「研究授業・協議、本校の実践例、指導主事の事例紹介について」
- 「どのようなところを工夫されていましたか」

(生徒の振り返りシート:記述式)

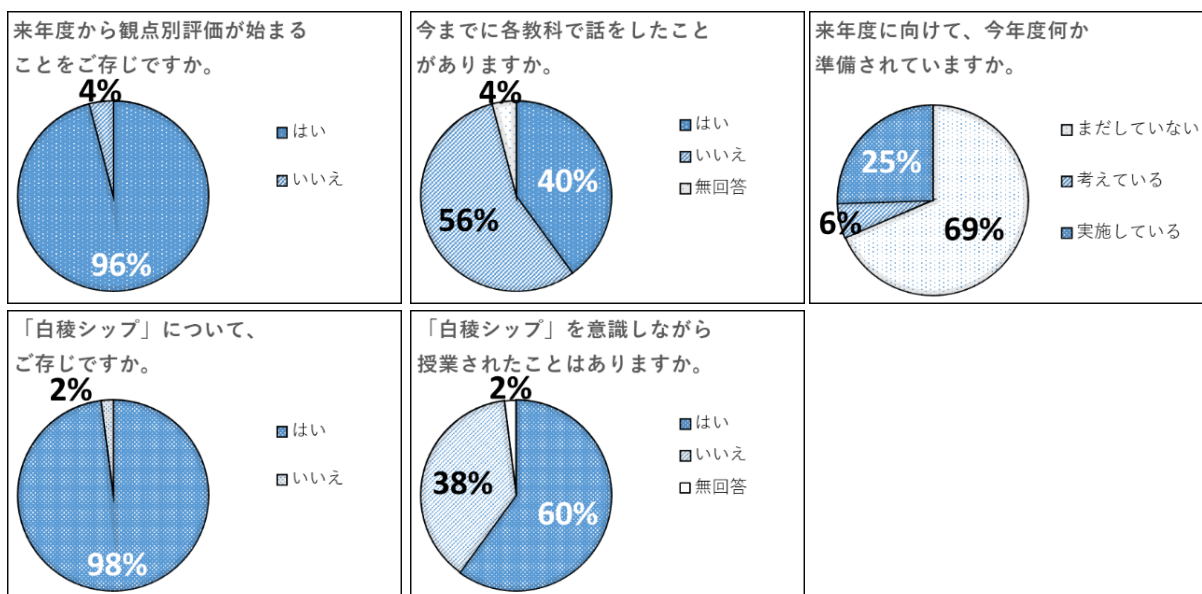
- 「授業に関するコメント(Comments)や質問(Questions)」
- 「今回の授業でできたことはなにか」

3 取組みの検証

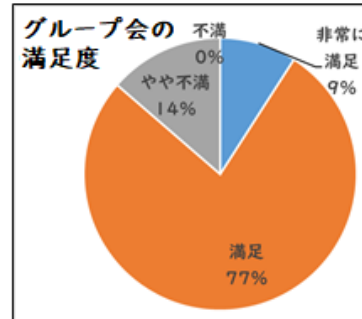
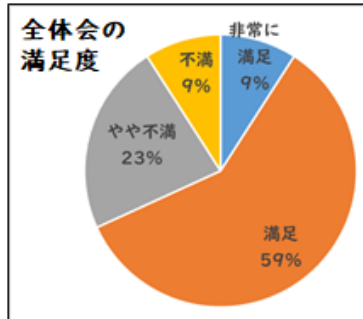
(1) 校内研究の成果

- ① 観点別学習状況の評価についての事前学習をしてもらい、疑問点などをアンケートした結果、来年度から始まることは知っている【96%】が、教科で話したり【40%】、事前準備を始めたり【31%】している先生方は多くはないことが分かった。また、「白稜シップ」は知っている【98%】が、それを意識して授業をしたことがある先生は、【60%】であることが分かった。

⇒ 研修のニーズは何かを想定することができるのでは... ⇒ 具体的な事例が知りたい



② 9月の全体会・グループ会の参加率【95%】で、満足度は全体会【68%】、グループ会【86%】
 全体会は一般的な話が多かったため、より具体的な事例が知りたかったことが数字に表れている。
 グループ会は教科を越えて、生徒に身につけさせたい力（白稜シップ）と観点別評価をどうリンクさせることができるかを話し合うことはできた。



また、アンケートの中には以下のような意見も書いてあった。

- 意見はまとまりませんが、先生方と話す機会もなかなかないので、たまにはこのように学校のことについて話す時間も大切なのではないかと思いました。ありがとうございました。
- 皆同じようなところで疑問を持っているので、1人じゃないと安心できました。
- 新しく来た先生に白稜シップについてご指摘をいただき新鮮でした。

③ 授業見学に関して、記録用紙と Google Form の 2 系統を準備し、見学教員はどちらでも提出することを可能にした。【参加率84.3%】

★ 授業見学週間中に1回は見学していただくようお願いしていたが、2~3回授業を見学していただいた先生もいた。

④ 研究授業を見学できなかった先生に対して、第2回全体会の研修に参加できるよう授業の動画を撮影したダイジェスト版を準備した。【参加率92.6%】

⑤ 主体的に学習に取り組む態度の評価の軸の一つとして、今年度の科目に関して、各担当者が「白稜シップ」を確認・設定をした。【確認・設定100%】

(2) 生徒の変容 (授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか)

<コミュニケーション英語 I のコメントシート> (研究授業)

天気	Today's Theme	理解度	Comments & Questions
☁ cloudy	形式主語	A:よく理解できた B:わからない所があった C:全然わからなかった	最初はほんまにちんぷんかんぷんやったけど、色つけて一個一個やったらちょっとだけできるようになった。けど次の授業までには忘れそう、、、とりあえず色付けてやっていこうと思います。
☁ sleepy			
☀ sunny	関係代名詞	A:よく理解できた B:わからない所があった C:全然わからなかった	英語って前やったやつとか全部がつながってるから一個わからなくなって放って置くと全部分からなくなるからもうどこから勉強したらいいかわからない
☁ So-so			
☀ sunny	関係代名詞 つづき	A:よく理解できた B:わからない所があった C:全然わからなかった	これの基礎は受験の時勉強してたのでちょっとだけ覚えていました。
☀ happy			

どのようにすれば、
できるようになるか
工夫をしようとしている

自らわからなくなる理由
(課題)を明確にしている
⇒教員からアドバイス

<数学 I の振り返りシート> (CM リーダー研修担当者)

内容	平方完成 ②					ノート点 (先生記入)	HA
理解度 ○をしよう	☹	1	2	③	4	5	☺
頑張る度 ○をしよう	☹	1	2	3	4	⑤	☺
今日 覚えたこと &感想	平方完成の公式がわかった。 1. 平方完成の公式を覚える。						
内容	平方完成の公式がわかった					ノート点 (先生記入)	
理解度 ○をしよう	☹	1	②	3	4	5	☺
頑張る度 ○をしよう	☹	1	2	3	④	5	☺
今日 覚えたこと &感想	平方完成の公式がわかった。 2. 平方完成の公式を覚える。						
内容	平方完成の公式がわかった					ノート点 (先生記入)	
理解度 ○をしよう	☹	1	②	3	4	5	☺
頑張る度 ○をしよう	☹	1	2	3	④	5	☺
今日 覚えたこと &感想	平方完成の公式がわかった。						

内容	二次関数の最大・最小					ノート点 (先生記入)	
理解度 ○をしよう	☹	1	2	3	4	5	☺
今日の内容で できたことは なんですか?	7"ラフは 全部④だった。						
感想	次は7"ラフをかきまわりたい。						

〈通常〉感想は自由に書く
 △ なにがわからないかを書いていない
 △ わからないことをどう解決するか?

〈改善後〉授業内容でできたことを書く
 ○ 次に頑張りたいことを書くことができた

(3) 教員の変容 (授業改善により教員が何を学んだか・どんな感想をもったか)

第 1 弾では、3 観点の学習に関する評価について、説明動画を視聴していただき、疑問を払拭し、どうしていくとよいか『考えるきっかけ』づくりをした。

第 2 弾では、「白稜シップや観点別評価について他教科の先生方と話すことができてよかった」や「各先生によって3 観点は違うし、どの項目も3 観点に当てはまる気がして、難しいと感じた」など、『話し合えるきっかけ』づくりをした。その結果、「白稜シップに否定的な意見が多く、もう少し建設的に話し合いを進められたらよかった」という意見もいただいた。

第 3 弾では、グループ会のファシリテーターである10年目の先生方を中心にまとめていただき、『生徒が身につけてほしい力である「白稜シップ」を「主体的な学習に取り組む態度」の評価軸の 1 つとして考えてみよう』という方針ができた。その方針をもとに今年度の担当科目について、身につけてほしい力を設定してもらった。

また、見学した授業に関して、「よかった点」「工夫されていた点」「取り組んでみたい点」を中心に見学をしていただいた。特に ICT 機器を使った記述が多かった。

第 4 弾では、本校で取り組んでいる3 観点の評価についての内容を「白稜シップ」を交えた実践事例を紹介することができた。また、先生方が実践している『振り返りシート』の紹介も行った。『自己評価シート』や授業の取組み度を視覚化した『スタンプカード』などの紙ベースのものからロイロノートで作品の説明をしたり、Formを使って振り返りをしたり、chrome book 等を使って振り返る先生もいることが分かった。

4 今後に向けて

(1) 今年度の課題

- 主体的に学習に取り組む態度の評価の軸の1つとして、担当科目の「白稜シップ」を確認・設定することはできたが、実際に、次年度への授業づくりを含めて、どう評価していくかについては、まだ不安は払拭できていないと思われる。
- 具体的な事例を紹介していただきかったが、限られた短い時間の中では、あまり満足できる実践的事例を聞くことができなかった。
- 次年度に向けて、実験的に3観点の評価を考え、動いている先生が一部いるが、共有する機会が少なかった。アンケート結果にて報告しているが、具体的な実践例を紹介できたのは、12月の全体会のみであった。
- 授業でICT機器を使うことが増えてきているが、「使うことが目的になってきているのでは?」という心配の意見も出ているので、あくまでICT機器は授業のサポート的な位置づけであることを強調しておきたい。

(2) 次年度に向けて

- 次年度から始まる「3観点の評価」に関して、具体的に検討し、白稜シップとの関わりを含めて、学校全体で共通目標をもち、授業力向上していく。
- 振り返りシートなどの生徒の変化・変容がわかる具体的手法を一部の教員でなく、全体として検討していく必要がある。
- 全体会のアンケート結果や試験実施している先生の実践例の意見から、次年度に生かしていく課題を確認し、解決できることは今年度中に考えていく必要がある。

学校番号 (1013) 府立(大正白稜 高等)学校
令和3年度 校内研修年間実施報告

1 令和3年度の目標(テーマ・主題)

<ul style="list-style-type: none"> • 白稜シップの周知 • 白稜シップに基づいた授業づくり • 白稜シップと観点別学習状況の評価について

2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	下旬	第1回ミーティング ・メンバー確認 ・校内研修年間計画	
5	中旬	第2回ミーティング ・全体研修の内容確認	
6			第1回 事前研修(総則編の動画視聴)
8		第3回ミーティング ・グループ会の内容確認	第1回 教員用アンケート実施 第1回 生徒用授業アンケート実施
9	1		第2回 全体研修(白稜シップ確認) 第2回 教員用アンケート実施
9	中旬	第4回ミーティング ・全体研修の振り返り	教科会 ・白稜シップから主体的な学習に取り組む 態度
10	上旬	第5回ミーティング ・授業見学週間について	の評価軸の1つとして項目を検討
~			
11	中旬		授業見学週間 研究授業
12	22		
1	下旬		第3回 全体研修(研究協議) 第3回 教員用アンケート実施
2		研修のまとめ	第3回 生徒用授業アンケート実施
3		次年度に向けて	教科会 年間振り返り

学校番号（ 1013 ）府立（ 大正白稜 高等 ）学校
令和4年度 校内研修年間計画

1 令和4年度の目標(テーマ・主題)

<ul style="list-style-type: none"> ・白稜シップと観点別学習状況の評価について ・白稜シップに基づいた授業づくり

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	下旬	第1回ミーティング ・メンバー確認 ・校内研修年間計画	
5	中旬	第2回ミーティング ・全体研修の内容確認	
6			第1回 教員用アンケート実施 第1回 生徒用授業アンケート実施
8		第3回ミーティング ・グループ会の内容確認	
9	上旬		全体研修（白稜シップ確認） 第2回 教員用アンケート実施
9	中旬	第4回ミーティング ・全体研修の振り返り	教科会 授業で重点的に身につける項目を検討
10	上旬	第5回ミーティング ・授業見学週間について	
～			授業見学週間
11	中旬		研究授業
12	中旬		第2回 生徒用授業アンケート実施
1	下旬		全体研修（研究協議） 第3回 教員用アンケート実施
2			
3		研修のまとめ 次年度に向けて	教科会 年間振り返り